本院を受診された方へ

本院は、日本ヘリコバクター学会の多施設共同研究「ヘリコバクター・ピロリ菌除菌症例の全国前向き調査―全国除菌レジストリー」(研究代表者：菊地正悟)に参加しています。

本研究の目的は、ヘリコバクター・ピロリ菌除菌治療後の胃がん発がん状況を調べることです。これにより、発がん率、リスク因子、最適な内視鏡検査施行の間隔などを明らかにすることが可能になります。

対象となる方は、40歳以上75歳未満で、ヘリコバクター・ピロリ菌の除菌治療に成功した方です。研究期間は、2017年4月1日から7年間を登録期間とし、その後20年間、経過観察を行います。

除菌に成功すれば、胃がん発がんのリスクは低下します。しかし、全く胃がんにならないわけではありませんので、除菌治療後も内視鏡検査による経過観察は必要です。本研究では、この経過観察のための内視鏡検査の実施年月日、検査結果などの情報を使用させていただきます。詳しい研究方法等は、日本ヘリコバクター学会のホームページをご参照下さい。（http://www.jshr.jp/about/business.html）

個人情報の取り扱いについては、氏名や住所など患者さんを直接特定できる個人情報は削除いたしますので、第三者に特定されることはありません。プライバシーへの最大限の配慮を行った上で、研究成果は学会や学術雑誌などで公表される予定です。特許が発生した場合の権利は、日本ヘリコバクター学会に帰属します。データは試験終了から5年間の保存ののち、適切に処分します。

本研究は日常診療の一環として行う臨床情報を調査する研究であり、情報等の使用について、直接説明して同意はいただかずに、このお知らせをもって公開いたします。研究に係わる対象者に対する費用負担や、報酬はありません。研究者と研究資金源との利益相反はありません。対象となる方におかれましては、研究の主旨・方法をご理解いただきますようにお願い申し上げます。

診療情報が本研究に用いられることについて患者さんにご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先にお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

当院における本研究の研究体制

研究代表者：

研究分担者：

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

各々の医院の連絡先を記入して下さい。